



RI 第2610地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017 年度 No.45

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017 年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄

2016-2017 年度 RI テーマ



(ジョン F. ジャーム会長)

例会記録

第1864回例会

平成29年6月14日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. 月誕生日：岩崎修会員（28日：欠席）



5. 会長の時間(臨時理事会報告、幹事報告兼ねて)：5月31日の例会は山形での学会のため欠席しましたので三週間も空いてしまいました。一週間に一回は皆さんの顔を見ないと寂しい気がします。当日11時頃山形に着き、メーキャップできる RC がないかネットで調べていましたら、近くのホテルで山形 RC が水曜例会と分かりました。最終例会は夜間になっていましたので、例会休みの証明をもらおうとホテルに行きましたら、偶然当日は昼例会を開催中でしたので、メーキャップしてまいりました。会長の名刺を出した関係で大変丁寧な扱いを受け、会長自らバナーを渡して頂きました。山形 RC は山形で一番古い RC であり、会員数が約90名でした。ゲスト席に着きましたら2800地区の現ガバナーがおられ、岡部ガバナーと親しくされ

ているということでした。また、隣におられたのは、バストガバナーの方で津田達雄先生と同期であるということで大変な奇遇でありました。いろんな所でメーキャップするといろんな思い出が出来ますので、皆さんも遠くに行かれたら是非メーキャップをお勧めします。29日の中学校清掃奉仕、4日の庄川クリーン大作戦の参加ありがとうございました。幹事が欠席ですので、理事会報告と併せて幹事報告を行います。庄川での臨時理事会でお諮りしました畠中、川原両氏の入会及び岩崎会員の退会につきましては、本日までご異議などありませんので理事会でご承認いただきました。入会は7月から、退会は6月末をもってということであります。先日、新湊中央 RC の25周年に出席しました礼状並びに「ひろく人を救う会」に個人的に寄付しましたが、国内で手術に成功しましたというお礼状も届いています。(お礼状を回覧する)来週は上田ガバナー補佐の訪問がありますので皆さんご出席をお願いします。本日の卓話は齊藤美華子さんです。よろしくお願いします。また、近隣クラブの例会変更は、事務局に確認ください。



6. 委員会報告：①出席委員会（横山幹委員長）：21名中

15 名出席 (71.43%) ②広報委員会 (小西委員長) : 今年度の最終号であり、私の最後の先読み報告です。盛りだくさんの記事の中からヨコの 22P、25P、タテの 4P、9P、15P、17P、18P の報告あり。③会員増強委員会 (齋藤彰委員長) : 岩崎会員の退会は紹介者として大変残念であり、会員増強委員長として責任を感じています。次年度は会員増になれば良いと思っています。

7. ニコニコBOX(SAA : 本日 5 名)

山本武夫会長 : 先週は庄川クリーン大作戦お疲れ様でした。畠中さん川原さんの入会は承認されました。大変うれしいです。岩崎さんには寂しいですが今月いっぱい退会されます。齋藤美華子さん卓話楽しみです。

坂井会員 : 先日の庄川クリーン大作戦大感謝。

高瀬会員 : 久しぶりです。山本年度も大詰め。齋藤美華子さん卓話楽しみでしたが、途中で早退お詫び！

中島会員 : 山本年度もあと 3 回ですね。気を抜かず頑張らしましょう。昨日、大腸カメラ検査を受けました。お陰様で異常なくホッとしています。

齋藤美華子会員 : 爽やかに晴れ渡って気持ちのいい日になりました。卓話よろしくご指導お願いします。



卓話「私の今後の課題について」 齋藤美華子会員

齋藤美華子会員 : RC には東となみ RC に入会する 5~6 年前からお客さんに誘われておりましたが、私には縁のないところだと思ってきました。いま卓話をさせていただいていますが、改めましてお誘いいただきましたことに感謝しています。

私は秋田県の男鹿半島の出身であります。例会日の水曜日はヨガを行っている日でしたのでお断りしましたが、あまりの熱意に分かりましたと言っていました。男鹿半島では 12 月 31 日に「ナマハゲ」が一軒一軒回ります。2 月には「^{せど}柴灯まつり」があります。機会がありましたら皆さん是非見に来てください。10 月頃に松風樓にナマハゲを呼ぶのではないかとという話もあります。今日の話の本題

はここからです。私は秋田の山奥の田舎に生まれました。クラスが 13 人の小さな学校でした。図工の時間で粘土細工をするのに山に粘土を取りに行き、粘土のある地層の事などを学びました。そんなこともあり私は大変野性的に育ってきました。そんな経験が今の料亭経営に大変役立っていると思います。7 回のどん底を味わわないと本当の経営者になれないと言われました。今日まで死ぬかと思った経験が 4~5 回あります。六歳の頃、弟をおんぶしたら後ろにひっくり返って家の前の水場に頭から落ちた。息が出来ず窒息死するかと思いました。二回目は、男鹿の海に行ったときに溺れかかりました。三回目は、25 歳くらいだったと思いますが、お腹が痛くて大きな病院に行きました。先生の顔色が変わり精密検査を受けました。診断名は「骨盤内腫瘍」、今まで健康だったのでショックでしたが、数日後には腹をくくりました。これまでに 25 年生きてきた証は何もない。とにかく残された日々を精一杯生きようと思いました。そしたら不思議と気持ちが楽になり、楽しくもありました。数日後、病院を受診すると、「安田 (旧姓) さんゴメンゴメン誤診でした。」と先生が申し訳なさそうな顔をして言われた。その日は宙に浮いた気分岐路につきました。富山 (福光) に来て 17 年程になりますが、ど素人のせいで失敗、失敗の日々でした。先代が居ないということはこれほどの事なのかと改めて思っています。今は若い人にその経験を教えている所です。今のような生活をしていたら食事をする暇もない。仕事やり過ぎ症候群だと思っています。昨年、精神的に死んでいました。気力も体力もなくなり、どうやって生きていけばいいのか分からなくなりました。これまで休んだことがありませんでしたが、今年の正月はお店を閉めて初めて実家に帰りました。秋田からの帰り、新幹線の「次は富山」というアナウンスを聞いた途端、顔半分が硬直し口が動かなくなりました。砺波総合 HP の救急で診察 (CT 等) を受けましたが、脳梗塞では無いということでありました。女性のドクターの指示で 10 日間の入院生活を余儀なくされました。今では宴会に出ないようにしています。何を残していけるのか今からの宿題です。生かされているということを改めて感じました。最後に京セラ名誉会長の稲森和夫氏の著書「生き方」の一文を紹介され卓話を終える。

(会報担当) 中島、長谷川 (写真)、山本武夫